



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 神鋼鋼線工業株式会社

コード番号 5660 URL <http://www.shinko-wire.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 小南 孝教

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長兼総務部長

(氏名) 藤森 直樹

TEL 06-6411-1051

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	13,970	△2.4	575	△24.8	474	△30.8	214	38.5
23年3月期第2四半期	14,307	△7.5	764	△24.4	685	△20.8	154	△59.0

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 242百万円 (21.5%) 23年3月期第2四半期 199百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	4.10	—
23年3月期第2四半期	2.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第2四半期	40,775		18,642		37.8
23年3月期	41,754		18,621		36.9

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 15,412百万円 23年3月期 15,391百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00
24年3月期	—	2.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,930	6.7	1,770	△2.1	1,640	2.3	830	35.1	15.93

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	58,698,864 株	23年3月期	58,698,864 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	6,601,575 株	23年3月期	6,594,840 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	52,100,572 株	23年3月期2Q	52,126,779 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成24年3月期の個別業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	23,910	7.3	1,270	△3.4	1,100	△8.4	640	14.1	12	28

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
3. 参考	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による生産活動の低下は回復に向かいつつあり、また個人消費の持ち直しなどによって徐々に景気回復に向けた動きも見られましたが、電力供給の不足問題、欧米の財政不安、円高・株安の進行など、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、公共投資関連需要では、震災に伴う第1次、第2次補正予算が成立しましたが総じて低調に推移し、また民間需要でも震災の影響による自動車等の減産、その後回復したものの、その影響は大きく、加えて原材料価格高騰の影響もあり、一層厳しい状況のまま推移しました。

このような状況に対しまして、当社グループは、高付加価値製品の販売拡大による収益力の向上を図るとともに、原材料価格の高騰に対しましては販売価格の是正の浸透に努め、さらに収益改善活動や新生産プロジェクトを引き続き推進し、コスト競争力の強化を図ってまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、一部の民需関連分野で震災後の低迷から持ち直しの動きはあるものの、公共投資関連など全体としては需要環境が厳しく、売上高は13,970百万円と前年同期に比べ2.4%の減収となり、営業利益、経常利益はそれぞれ575百万円(前年同期比24.8%減少)、474百万円(前年同期比30.8%減少)となりました。また法人税等及び少数株主利益を差し引いた後の四半期純利益は、214百万円(前年同期比38.5%増加)となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント毎の状況は次のとおりです。

＜特殊鋼線関連事業＞

(PC関連製品)公共投資関連では、公共事業関係費削減が継続するなか、東日本大震災に伴う第1次、第2次補正予算が成立しましたが、第2四半期に入っても工事入札の出足は低調で、市場は縮小しました。一方、民間投資関連では、プロジェクト物件が堅調で、建築向けではマンション需要が回復基調となり、倉庫物件も堅調に推移しました。このような状況のなか、技術提案と営業強化によるシェアアップ、高付加価値製品への転換や新規市場の開拓に努め、全体では前年同期に比べ販売数量・売上金額とも増加しました。

(ばね・特殊線関連製品)主要な需要分野である自動車産業向けの弁ばね用鋼線(オイルテンパー線)は、東日本大震災の影響を受け、6月以降は回復傾向にあるものの、前年同期に比べ販売数量・売上金額とも大幅減となりました。また、OA関連製品、家電・弱電向けのばね用ニッケルめっき鋼線も、震災影響による落ち込みが大きく、国内・輸出向けとも回復基調となりましたが、前年同期に比べ大幅減となりました。一方、ステンレス鋼線は、主力の建築関連向けに依然回復の兆しがなく、震災の影響や円高による外材との価格競争の影響で引き続き厳しい状況で推移しました。

その結果、特殊鋼線関連事業全体の売上高は6,954百万円と前年同期に比べ4.7%減少となり、営業利益は224百万円と前年同期に比べ47.0%減少となりました。

＜鋼索関連事業＞

国内総需要は低迷が続いており、当第2四半期連結累計期間も主要な土木建築分野などが落ち込み、それ以外の分野も前年同期比で横ばいと低い水準で推移するなか、一方で円高によって輸入量は昨年並みの高い水準となりました。国内向けの販売については、土木・建設向けの落ち込みや輸入品の増加の影響もあり販売数量・売上金額とも減少しました。また、輸出につきましても、円高の影響を受けたことなどから減少し、全体でも販売数量・売上金額とも減少となりました。

その結果、鋼索関連事業全体の売上高は6,197百万円と前年同期に比べ2.2%減少となり、営業利益は364百万円と前年同期に比べ4.2%減少となりました。

＜エンジニアリング関連事業＞

吊構造用ケーブルにつきましては、橋梁向けは減少となりましたものの、建築向けが民需分野で好調であったため、全体の売上金額は前年同期に比べ増加しました。また落橋防止ケーブルは、震災の影響を受けて公共事業投資が沈滞する中、前年同期に比べ売上減となりましたが、道路騒音防止関連製品は売上増となりました。

その結果、エンジニアリング関連事業全体の売上高は788百万円と前年同期に比べ22.1%増加となり、営業損益は36百万円の損失(前年同期は62百万円の損失)となりました。

＜その他＞

不動産関連事業の売上高は30百万円と前年同期に比べ2.9%減少となり、営業利益は22百万円と前年同期に比べ2.4%減少となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末との比較において、次のとおりとなりました。

総資産は、979百万円減少の40,775百万円となりました。これは主として現金及び預金が減少したことによるものです。

負債は、999百万円減少の22,132百万円となりました。これは主として借入金が増加したことによるものです。

純資産は、20百万円増加の18,642百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加によるものです。また、自己資本比率は37.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間までの業績動向を踏まえ、また今後の需要動向等を勘案して見直しを行った結果、前回公表（平成23年8月9日）いたしました業績予想を修正いたします。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,576	5,004
受取手形及び売掛金	9,314	9,331
商品及び製品	3,631	3,927
仕掛品	2,006	2,183
原材料及び貯蔵品	1,592	1,706
繰延税金資産	361	316
その他	363	524
貸倒引当金	△277	△267
流動資産合計	23,569	22,726
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,649	4,532
機械装置及び運搬具（純額）	4,373	4,395
工具、器具及び備品（純額）	189	175
土地	6,056	6,056
リース資産（純額）	47	43
建設仮勘定	110	64
有形固定資産合計	15,427	15,267
無形固定資産	108	246
投資その他の資産		
投資有価証券	364	315
長期貸付金	0	0
繰延税金資産	1,488	1,445
その他	1,014	991
貸倒引当金	△219	△217
投資その他の資産合計	2,648	2,534
固定資産合計	18,184	18,048
資産合計	41,754	40,775

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,092	2,929
短期借入金	6,244	8,051
リース債務	19	20
未払費用	1,291	1,309
未払法人税等	395	122
賞与引当金	547	551
環境対策引当金	—	19
その他	395	318
流動負債合計	11,986	13,322
固定負債		
長期借入金	7,509	5,312
リース債務	33	27
退職給付引当金	2,185	2,131
役員退職慰労引当金	34	34
環境対策引当金	70	51
繰延税金負債	558	553
負ののれん	154	123
その他	600	575
固定負債合計	11,145	8,809
負債合計	23,132	22,132
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,062	8,062
資本剰余金	6,354	6,354
利益剰余金	2,287	2,345
自己株式	△1,350	△1,351
株主資本合計	15,354	15,411
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36	0
為替換算調整勘定	—	△0
その他の包括利益累計額合計	36	0
少数株主持分	3,230	3,230
純資産合計	18,621	18,642
負債純資産合計	41,754	40,775

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	14,307	13,970
売上原価	11,202	11,162
売上総利益	3,104	2,807
販売費及び一般管理費	2,340	2,232
営業利益	764	575
営業外収益		
受取利息	24	24
受取配当金	7	7
負ののれん償却額	30	30
固定資産賃貸料	26	25
還付消費税等	35	0
その他	3	3
営業外収益合計	128	93
営業外費用		
支払利息	108	85
固定資産廃棄損	10	36
その他	87	71
営業外費用合計	206	193
経常利益	685	474
特別損失		
貸倒引当金繰入額	286	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4	—
特別損失合計	290	—
税金等調整前四半期純利益	395	474
法人税、住民税及び事業税	146	98
法人税等調整額	1	94
法人税等合計	147	192
少数株主損益調整前四半期純利益	247	281
少数株主利益	92	67
四半期純利益	154	214

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	247	281
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47	△39
為替換算調整勘定	—	△0
その他の包括利益合計	△47	△39
四半期包括利益	199	242
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	109	177
少数株主に係る四半期包括利益	89	64

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

1 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,294	6,334	645	14,275	31	14,307	—	14,307
セグメント間の内部売上高 又は振替高	388	98	0	487	—	487	△487	—
計	7,683	6,433	646	14,763	31	14,794	△487	14,307
セグメント損益	423	380	△62	741	23	764	—	764

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,954	6,197	788	13,939	30	13,970	—	13,970
セグメント間の内部売上高 又は振替高	320	102	2	425	—	425	△425	—
計	7,275	6,299	790	14,365	30	14,396	△425	13,970
セグメント損益	224	364	△36	552	22	575	—	575

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

3. 参考

1. 第2四半期(累計)及び通期業績予想 (連結)

(単位:百万円)

	H23年3月期		H24年3月期		対前年同期比較	
	2Q実績	通期実績	2Q実績	通期予想	2Q	通期
売上高	14,307	28,983	13,970	30,930	△336	1,946
セグメント別内訳						
特殊鋼線関連事業	7,294	14,497	6,954	15,348	△340	851
鋼索関連事業	6,334	12,495	6,197	13,372	△137	876
エンジニアリング関連事業	645	1,927	788	2,149	142	222
その他	31	63	30	61	△0	△2
営業利益	764	1,807	575	1,770	△189	△37
セグメント別内訳						
特殊鋼線関連事業	423	978	224	804	△199	△174
鋼索関連事業	380	773	364	833	△16	59
エンジニアリング関連事業	△62	8	△36	88	26	79
その他	23	45	22	45	△0	0
経常利益	685	1,602	474	1,640	△211	37
四半期(当期)純利益	154	614	214	830	59	215
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	2.96	11.78	4.10	15.93	1.14	4.15

(単独)

売上高	10,862	22,288	10,716	23,910	△146	1,621
営業利益	500	1,314	348	1,270	△151	△44
経常利益	527	1,201	278	1,100	△249	△101
四半期(当期)純利益	177	561	173	640	△3	78
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	3.39	10.76	3.32	12.28	△0.07	1.52

2. 設備投資・減価償却費 (連結)

(単位:百万円)

	H23年3月期		H24年3月期		対前年同期比較	
	2Q実績	通期実績	2Q実績	通期予想	2Q	通期
設備投資	343	633	475	997	131	364
減価償却費	447	902	471	944	24	41

3. 連結キャッシュ・フロー (連結)

(単位:百万円)

	H23年3月期		H24年3月期		対前年同期比較	
	2Q実績	通期実績	2Q実績	通期予想	2Q	通期
営業キャッシュ・フロー	1,023	1,340	△379	191	△1,403	△1,149
投資キャッシュ・フロー	△379	△610	△564	△1,146	△184	△535
財務キャッシュ・フロー	△634	△1,190	△620	△155	13	1,035
現金・現金同等物期末残高	7,045	6,575	5,002	5,455	△2,042	△1,120

4. 有利子負債・金融収支 (連結)

(単位:百万円)

	H23年3月期		H24年3月期		対前年同期比較	
	2Q実績	通期実績	2Q実績	通期予想	2Q	通期
有利子負債残高	14,192	13,753	13,363	13,999	△829	246
金融収支	△76	△139	△52	△113	24	26